

2009年3月期 第2四半期

決算概要とトピックス

代表取締役社長

高橋 晃

2008年 10月 30日

増収基調も、営業減益

(億円)

	08/3期Q2累計	09/3期Q2累計	増減率
売上高	1,508	1,570	4%
粗利益(率)	828(54.9%)	843(53.7%)	2%
販管費(率)	493(32.7%)	528(33.7%)	7%
営業利益(率)	335(22.2%)	315(20.0%)	-6%
経常利益(率)	340(22.5%)	328(20.9%)	-3%
純利益	229	230	0%

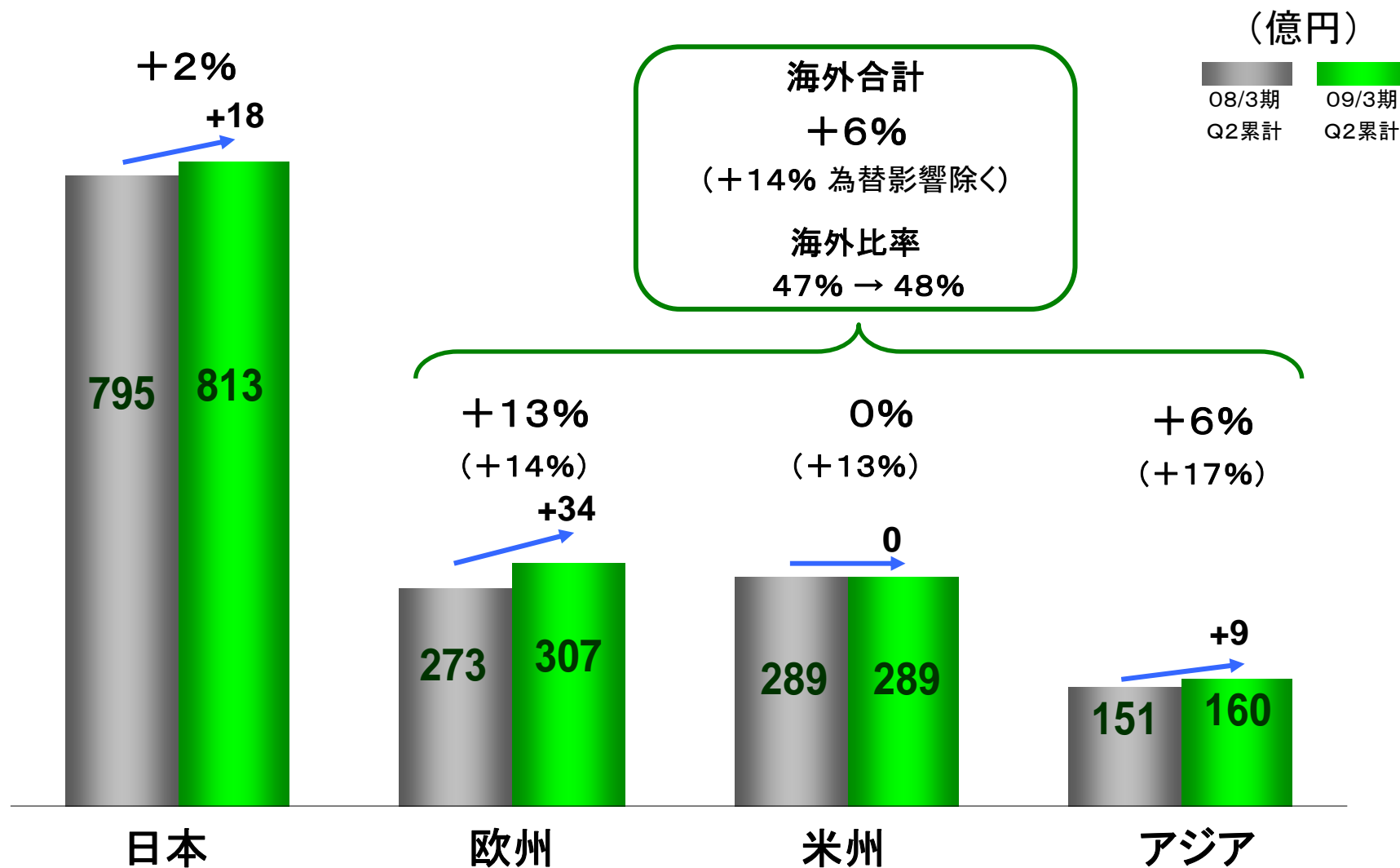
期中平均レート

US\$ 119円
EUR 162円

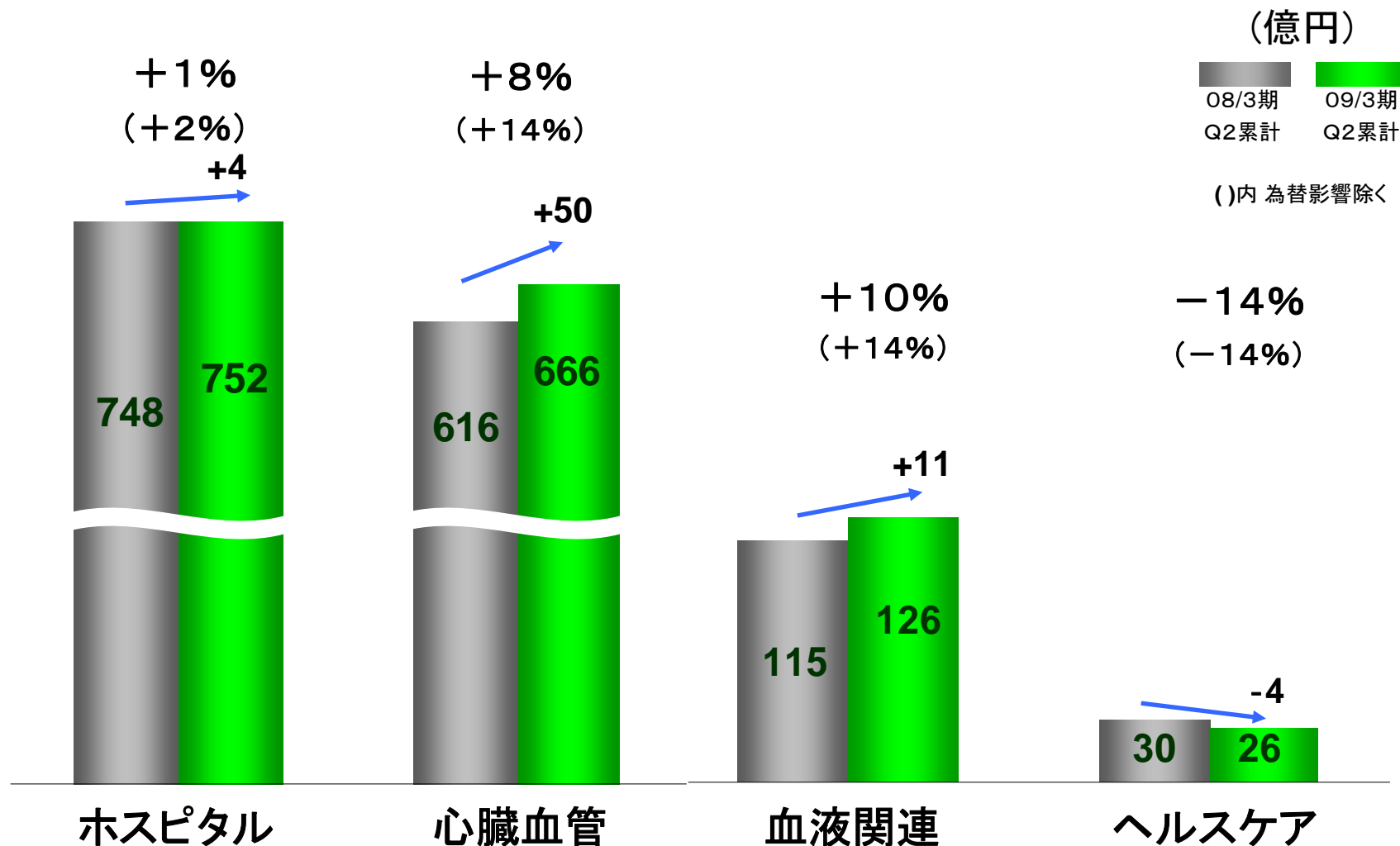
106円
163円

11.1%円高
0.3%円安

売上高（地域別）為替影響を除き、海外は2桁成長継続



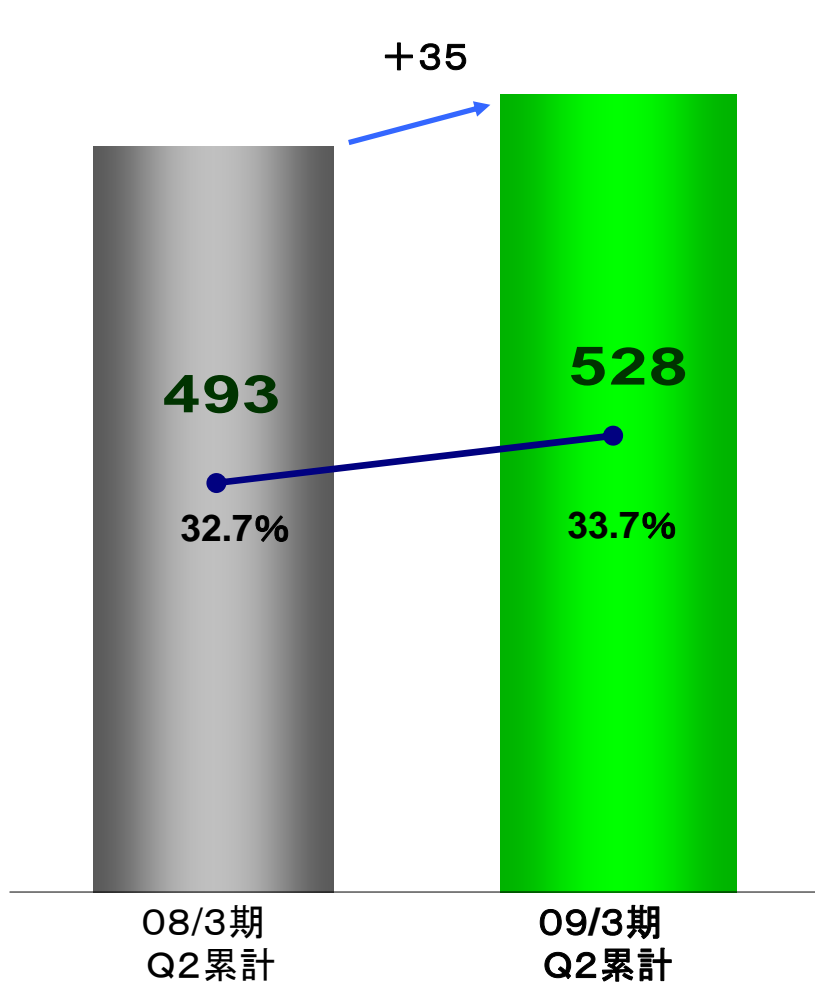
売上高（商品群別） 心臓血管、血液は順調に推移



販管費

販売・開発の推進、のれん代により増加

(億円)

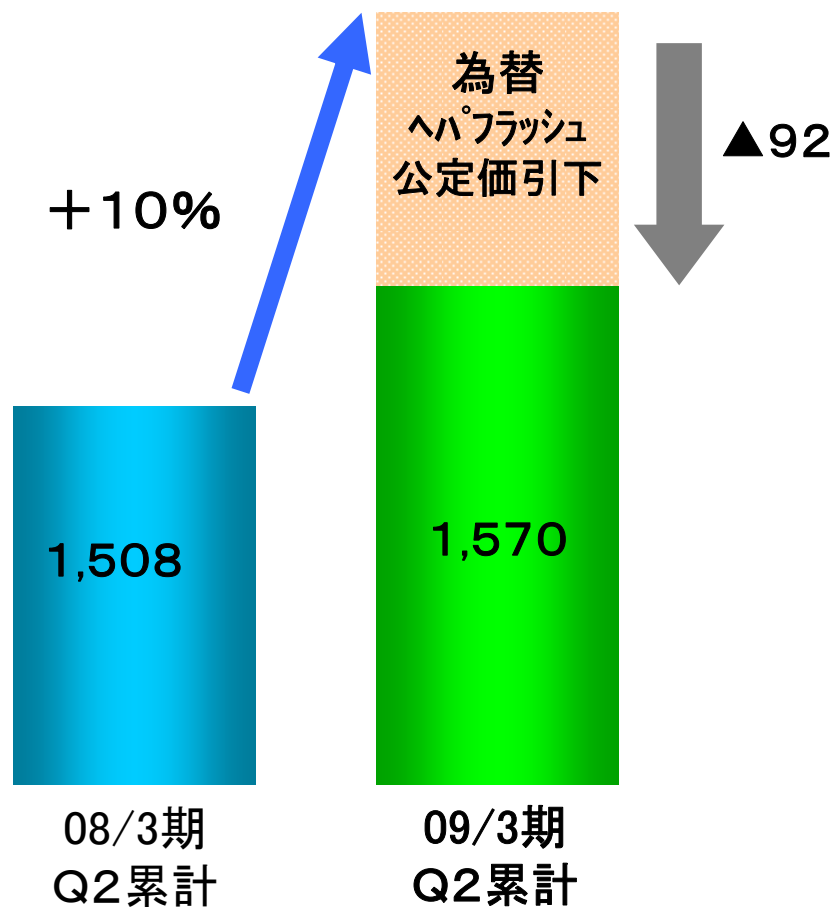


販管費比率
1.0ポイント
上昇

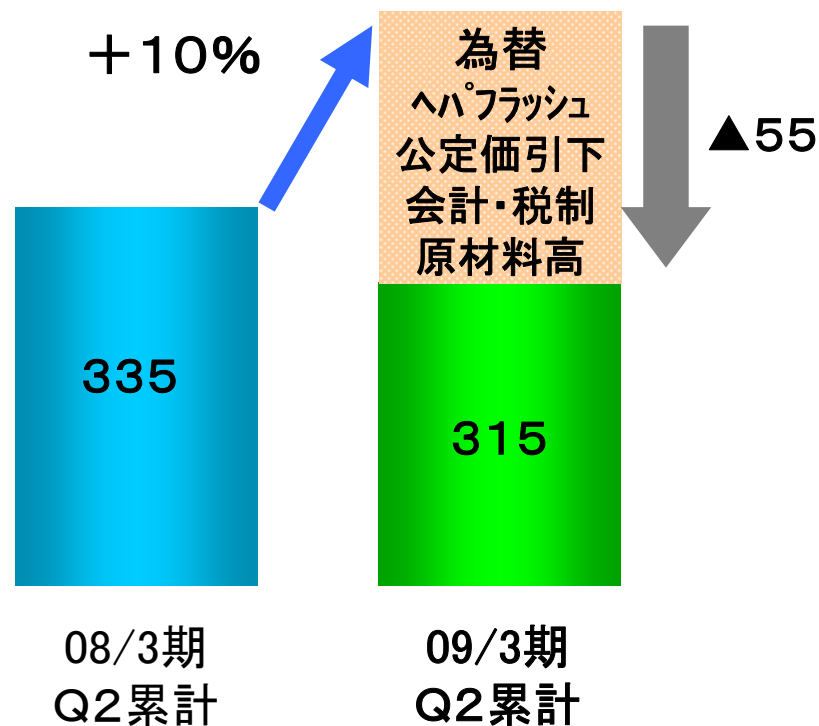
	08/3期 Q2累計	09/3期 Q2累計	増減	対前年 比
人件費	183	195	+12	6.8%
物流費	44	47	+3	6.5%
販促費	48	52	+4	8.2%
研究開発	78	80	+2	2.6%
のれん償却	6	10	+4	65.8%
その他	134	144	+10	7.2%
計	493	528	+35	7.1%

前年同期比、特殊要因の影響について

【売上】



【営業利益】



想定レートを変更、通期予想を見直し

(億円)

09/3期
Q2累計実績

09/3期
通期見通し

当初見通し

売上高

1,570

3,100

3,180

営業利益(率)

315 (20.0%)

620 (20.0%)

680 (21.4%)

経常利益(率)

328 (20.9%)

610 (19.7%)

680 (21.4%)

当期純利益

230

400

450

期中平均レート

US\$ 106 円

101 円

100 円

EUR 163 円

144 円

155 円

下期想定レート

US\$ 95 円

EUR 125 円

トピックス

◆ 上期の状況

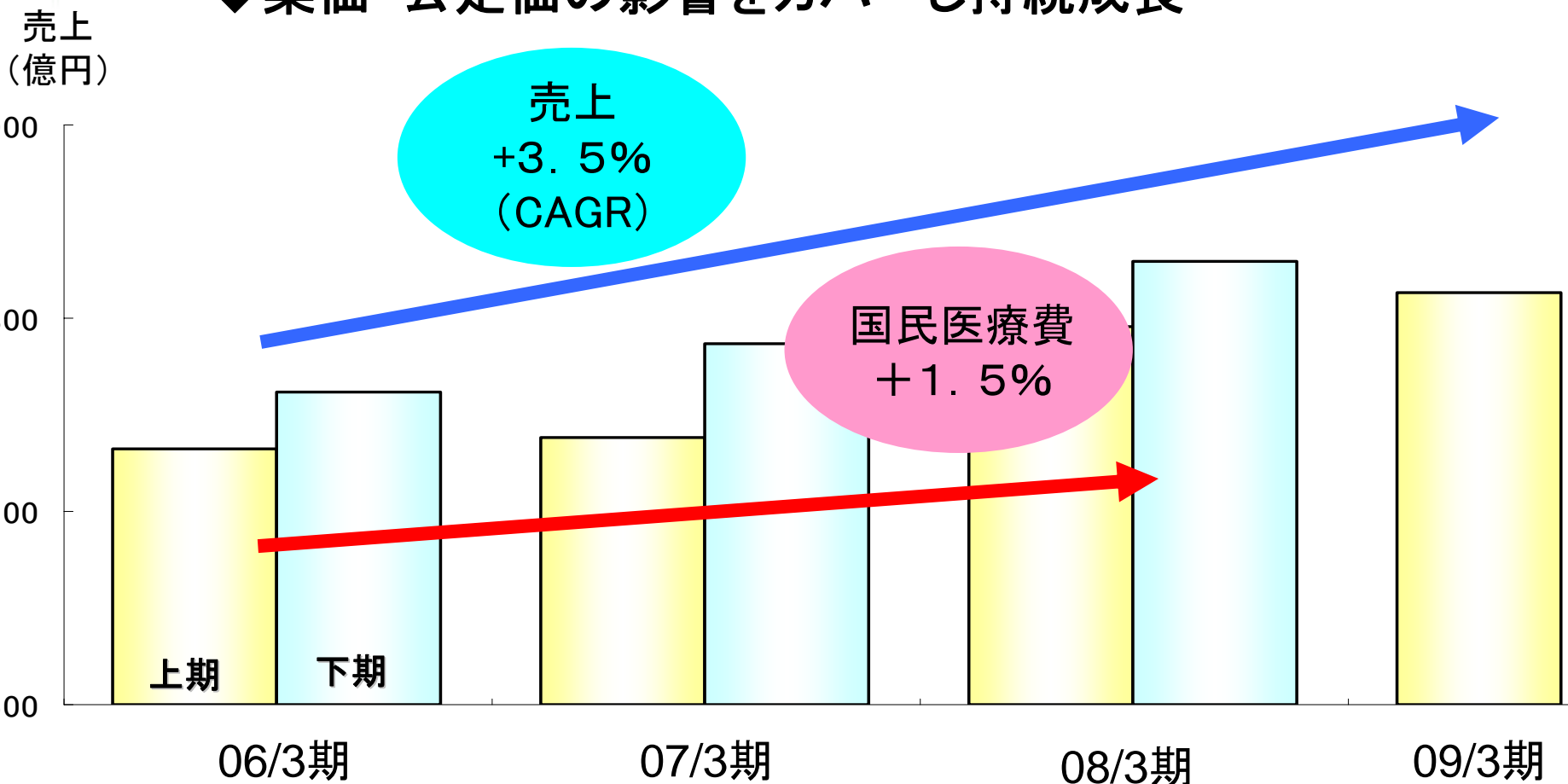
◆ 今後の市場の動きと戦略

上期の状況

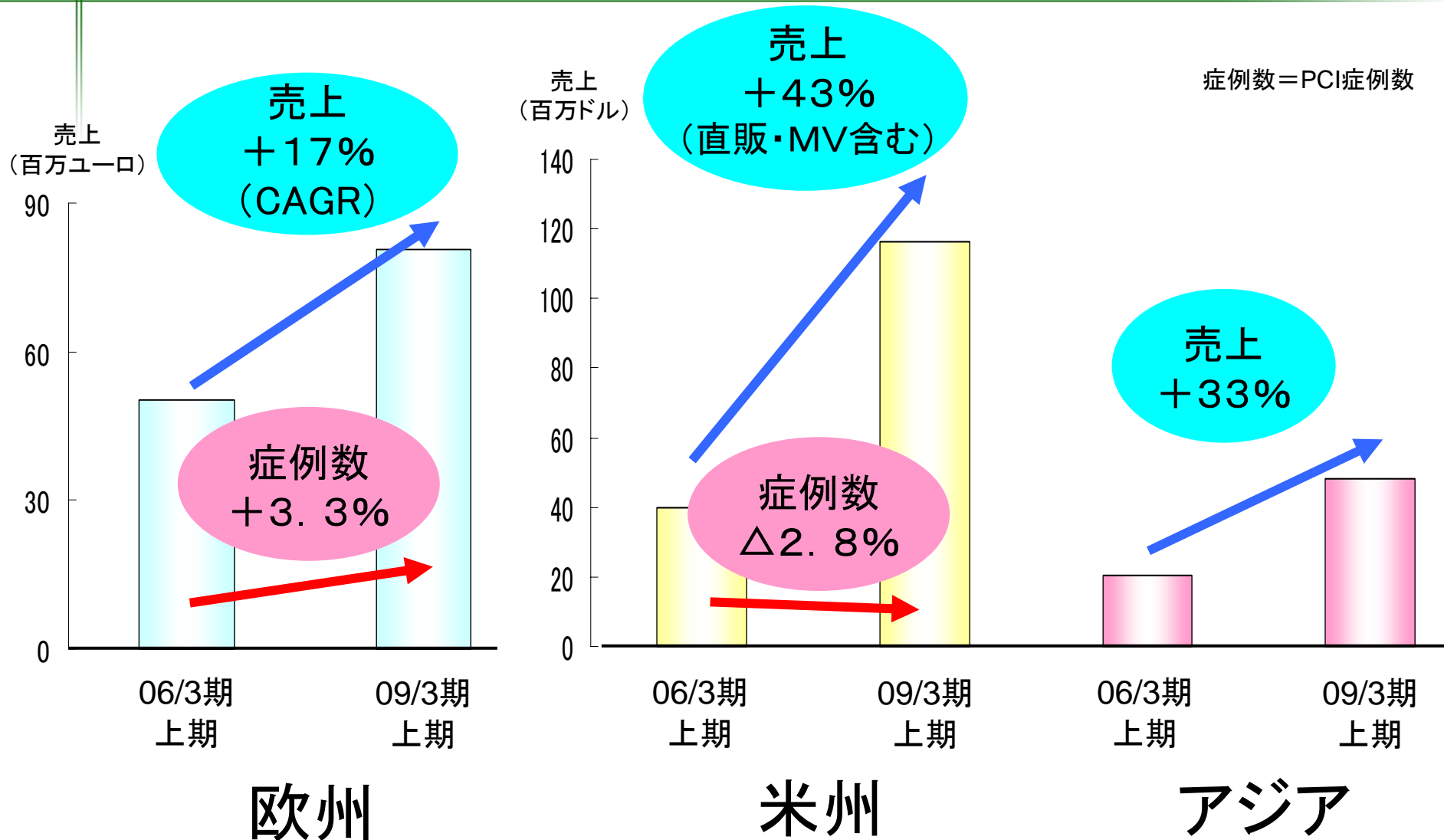
国内ビジネスは安定的に拡大

◆市場は超低成長

◆薬価・公定価の影響をカバーし持続成長

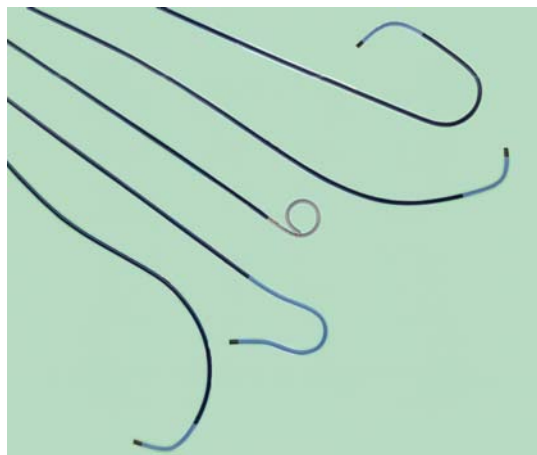


海外のカテーテルは全市場で強い成長トレンド



新たに加わったクリニカル・サプライ

- ◆国内販売では、既に体制強化に着手
- ◆クリニカル商品の海外展開、来年度スタート
- ◆開発・生産でノウハウを共有



血管造影用カテーテル



マイクロカテーテル
“Sniper”



今後の市場の動きと戦略

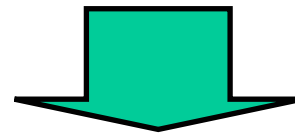
今、起きつつあること…

経済の激変

高齢化の進展
生活習慣病の増加

医療費の増加

医療安全に関する
規制強化



“医療経済性”をキーワードに
グローバルでビジネスチャンスが拡大

医療機器への期待 『新産業ビジョン』

◆医療経済性向上の“切り札”として医療機器にフォーカス

新医療機器・医療技術産業ビジョン

～世界最高水準の医療技術を

いち早く国民へ提供することを目指して～

平成20年9月19日

厚生労働省

「厳しい医療保険財政の下では、医療機器産業全体としても厳しい合理化と企業戦略の見直しが進められてきているところであるが、**医療経済に貢献できる新商品の開発**など、なお一層の努力が求められている。」

ニーズに合致した新商品を継続投入

◆新しい点滴システム『エクスフリー』

- 全く新しい接続方法を開発、輸液の安全性向上に寄与



次世代の輸液管理ソリューション
エクスフリー® 輸液システム

◆プレフィルドシリンジの新商品、『アトワゴリバース』

- シリンジと2剤(ネオスチグミン+アトロピン)を合体、安全性と効率化に貢献



抜群の医療経済性、『TRI』でのカテーテル治療

◆さらに低侵襲

-手首の動脈から心臓血管にアプローチ

◆止血が簡単

-従来法(大腿動脈)より大幅に時間短縮

◆すぐに歩ける

-治療後に歩いて退室、日帰り手術が可能に



“This is TERUMO Territory”
TRI 関連商品のパンフレット

※TRI (Transradial Coronary Interventionの略、Transradial=橈骨動脈)

テルモ = TRI、独自の戦略でグローバル展開

◆アクセスから止血まで、充実の商品ラインアップ

- イントロデューサーキット、ガイドワイヤー、カテーテル、手首用止血バンドなど
- 手首向けの精緻な仕様設定

◆日本から世界へ、医療手技を伝播・浸透

- メディカルプラネックス、コンピュータでのシミュレーターなどを活用

<TRI普及率>

日：45%

欧：25%

米：5%以下

ア：25%

※08/3時点(テルモ調べ)



中国のDr.を迎えてのトレーニング
(メディカルプラネックス)



ブラジルでの「移民100周年」記念TRIシンポジウム

カテーテル商品の領域を拡大

◆脳領域をフルライン化

- 脳動脈瘤治療用コイル

+ ガイドワイヤー(2Q上市済み)

+ カテーテル(下期上市予定)



HydroSoft
(脳動脈瘤治療用コイル)

◆末梢血管(ペリフェラル)への本格展開



MISAGO(大腿動脈用ステント)



AZUR(腹部動脈用コイル)

増産 & 収益力強化に向けた取り組み(1)

◆カテーテル商品、グローバル生産体制の拡充

-愛鷹工場の新棟着工、欧米でも能力増強



愛鷹新棟完成予想図
(2009年度中頃に 操業予定)



テルモメディカル社
(米国)



テルモヨーロッパ社
(ベルギー)

増産 & 収益力強化に向けた取り組み(2)

＜アジア生産の拡大＞

- ◆ベトナム工場 : 5月に操業開始、今期末には400名体制へ
- ◆長春テルモ、テルモペンポールでも拡張を予定



長春テルモ社



テルモペンポール社



ベトナム工場

高付加価値化と効率化を推進

◆メディカルプラネックスの有効活用を促進

- 新産業ビジョンの方向性とリンク
- 「改良・改善」で高付加価値化



メディカルプラネックスの
トレーニング風景

◆国内工場にEB(電子線)滅菌を導入

- リードタイムの圧縮、在庫低減に貢献

◆一般管理費など、効率運用の徹底

グローバル大型新商品、順調に進捗

◆DuraHeart

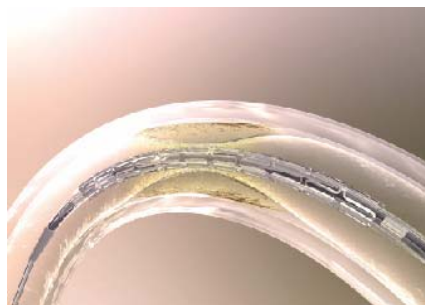
- 米国(7月)、日本(10月)と相次いで臨床試験がスタート
- 欧州は順調に販売中

◆Nobori

- 日本は臨床試験中、埋め込みが終了
- 欧州では、市販後臨床試験を実施中
- PTCAバルーンカテーテルなど、周辺商品の売上増に貢献



DuraHeart
(左心補助人工心臓)



Nobori
(薬剤溶出型ステント)

まとめ

- ◆世界経済は混乱、しかし、ビジネスチャンスは拡大
- ◆キーワードは「医療経済性」、テルモの戦略＝時代のニーズ
- ◆収益力拡大・強化に向けてPhoenix2010を実行

※自己株式の取得を本日決定（400万株・200億円を上限）

《おことわり》

本資料に記載されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため様々な要因の変化により、実際の業績が、記載されている予想・見通しとは異なる場合があります。ご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レート、競争状況などがあります。